

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390500035		
法人名	ライフサポート安心企業組合		
事業所名	グループホーム みたけ		
所在地	岡山県笠岡市西大島3253番地		
自己評価作成日	平成23年1月23日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3390500035&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート
所在地	岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館
訪問調査日	平成23年1月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・毎日散歩へ行き、しっかり歩いていただいている ・自家製ヨーグルト、ブルーベリージャム ・イベントに参加 ・学生ボランティア受入 ・食事づくりをお客様と共にする ・洗濯干しや取り込みをお客様と共に行う ・毎月行事を行っている ・水分摂取(一日平均1300cc)</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>設立してから丸3年経過したホームを見て、管理者や職員の自分達のしている利用者や家族に対するケアやサービスに対して問題意識を持って仕事をしている姿を感じた。これは大変なホームの成長だと言える。平成21年度のサービス評価の時、目標達成計画を職員全員で立案し、3項目の目標を掲げて実行して、今年末にその成果を評価した。これらを実行することにより、色々な所に波及効果も大きく、職員の意識高揚にも役立ったと思う。これからは、利用者と職員、職員と家族、地域の人と職員の間でのコミュニケーションから相手の気持や希望の本心をどのように察知するか、その心を運営やサービスにどう生かしていくか、そして利用者の今の状態を把握して、その人が満足な生活をしてもらえるよう支援していくことに役立つであろうと期待していきたい。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	定期的に行われているミーティングで話し合い再確認している・事務所内においても確認できるよう理念を掲げている・理念を念頭においてケアを行っている	ホーム開設時に代表者・管理者等で相談して作成した理念は、ケアに対する思いの凝縮されたもので、ホームの在り方の基盤である。常々再確認事項として理念に基づく考え方を職員に伝え、周知徹底を図っている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントに積極的に参加している・近所のスーパーへ2日に1度買物に行っている・小学校のオープンスクール、学芸会などに参加している・日常的に散歩に出かけ地域の人たちと挨拶を交わす・地域の中学生のボランティアを受け入れている	代表者・管理者は地元住民なので、地域行事等にも精通していて、地域の一員として参加している。ホームの行事・ふれあい交流会には、地域住民も来てくれた。地域に浸透し、交流出来ている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	その都度対応できている・少しずつだが活かしている・特に活かし切れていない		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見、要望等を職員へ伝え、話し合いの場を設け反映できている・2ヶ月に1回開催しているが話す内容があまりない (21・目標計画達成)	ホームの行事と運営推進会議の同時開催を今年度の目標達成計画に掲げ、避難訓練やふれあい交流会の時に実施し、ざっくばらんな話し合いが出来た。今後はホーム設立5周年記念イベントとの同時開催を検討中だ。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連携できていると思う・何かわからないこと等あった時に連絡をとっている	できれば木曜以外にして欲しいと要望がある等、市の担当者もホーム運営推進会議に出席する意欲があり、よく参加してくれている。介護保険制度についての話をしてくれる等の情報提供もある。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	鍵をかけず自由な暮らしを支援している・職員会議で身体拘束の勉強会を行い理解を深めた・言葉での拘束は安全を考えての事もあるが日々悩んでいる・職員会議で話し合い緊急止むおえない場合のみご家族より同意書に署名を得て行う・気持ちを押しさえないよう良く話を聞いて理解を頂くよう努めている・ご家族と連絡を密にし拘束のないようにしている	県のガイドラインを参考資料にして毎年必ず勉強会を実施し、全職員に身体拘束をしないケアの実践を徹底している。言葉による拘束などについても具体的に話し合い、安全面を確保した上で、万全の配慮をするよう伝えられている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い実践できている・会議等に虐待防止に向けた理解浸透や遵守にむけた取り組みを行っている・職員会議などで話し合いお互いに注意見過ごされないように努めている・施設内研修が年一回はある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・学ぶ機会もなく、話し合いもない		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時には契約書と重要事項説明書を説明し納得された場合のみ署名、捺印をいただいている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営会議に参加いただきたいがご家族が仕事を持たれているため、まだ数回ほどしか参加いただけていない ・面会時、それ以外の時でも連絡をとり意見や要望を聞いている ・外部評価時の家族アンケートの結果を会議で話し合い運営に反映させている	ホームの新聞や毎月の家族への便りで様子を伝え、何かあればその都度連絡して相談している。家族アンケートでも、ホームでの生活ぶりを良く伝えてくれているとの回答があり、要望や意見を取り入れようとするホームの姿勢が伺える。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・会議において意見や提案をきいている ・会議以外で発生した意見や要望等の反映は難しい	職員会議には、余程の事が無い限り休みの職員も出てきて、全員で活発な意見交換できている。代表者・管理者は、職員の意見はできるだけ反映させたいと考えている。職員の離職も殆んどなく安定している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・希望休の優先で働きやすい環境である ・サービス残業や過重労働は見られず、身体的精神的負担が少ない ・個々の努力は認められていると思う ・時間、やりがい、環境の配慮がされている ・休日など半月前に予定を記入することができる ・向上心を持って働ける環境ではない ・休憩時間がない ・気分転換できるような時間がない ・目標設定の項目が多く負担である		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・平成22年は全職員延べ15回外部研修と講演会へ参加している ・ほとんどの外部研修へは休日ではなく勤務日に参加できている ・積極的に研修を受講できる体制である ・個人的に取得した資格、研修を評価してくれており処遇面で反映してくれている ・研修の受講者が会議で受講内容を発表し職員全体で共有している ・研修を受ける機会は少ない		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・ハートフル大会(笠岡市の福祉施設が集う大会)への参加 ・交流はない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前に管理者がご本人から要望や不安な点を聞いている ・ご本人の話をしっかり聞きその方にあったサービスを提供 ・定期的に意見を聞きサービス内容を変更 ・良く話を聞いて不安解消や要望のきき入れに努力している ・プライバシーを守りながらご本人が希望している事柄を理解している		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族に今までの様子を聞き不安をなくすよう努めている ・自分たちが行っているサービス内容を説明しご家族の意見を聞きその方に合った支援をしている ・ご家族の面会時職員が明るい会話を心がけ話しやすい環境作りに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・これまでの経緯をゆっくり聞くようにしてその後どんなサービスが必要か検討している ・ケアマネージャーが対応している ・その都度その時にあったサービスを提供している		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・支援する側、される側という意識を持たずお互いが共生しながら和やかな生活ができるように努めている ・お客様を家族だと思っている ・お客様の思いを知るように努めているが全て理解できていない、そのためお客様から暮らしを共にと思われているかは不明 ・料理などできることを共にすることで支えあっていると感じる ・楽しく過ごせるよう努力している		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族には日常生活の様子を面会時に伝え状況を把握してもらっている ・面会時に写真のアルバムを見ていただいている ・ご家族と笑顔で明るく話をするようにしている ・いい関係が築けている ・誕生会や催し事へのご家族の参加		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・電話、手紙などでの連絡を取り持ち継続的な交流ができるようにしている ・あまり馴染みの方は来られない ・馴染みの方からの面会は多くはないが定期的にある	墓参りや、家族と思い出旅行に出掛ける等、家族の協力を得ながら、その人の馴染みの人や場との関係継続出来るよう支援している。「帰りたくなったら、いつでも息子が迎えに来てくれる」と話す人も居た。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・個別に話を聞いたり気の合うお客様どうしで過ごされるようにしている ・職員が間に入り話しやすいようにしている ・ホールの席などを状況に応じて移動している ・一人がいいという方には無理に参加してもらわずご本人の意思を尊重している ・就寝時以外は居間で過ごしていただいている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・支援できていない・相談があれば支援に努めたいがプライバシーの問題が生じることもある・他の施設等に移られたお客様の面会には行きたいがなかなか行かない		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・職員会議で話し合いを行っている・ご本人の思いや意向の把握に努めているが、表現ができない方の意向を把握するように努めたい・日々のかかわりの中で声をかけ把握に努めている・昔の生活はどんな様子かご家族に聞き、ケアに取り入れる	「私はもういっぱい動いたから、もういい」お手伝いを遠慮なく断る人が居た。「買物に行きたい」と言われて出掛けることもある。ホームは基本的には本人のしたいように貰い、希望を損なわないよう支援している。	グループホームは利用者の生活の場である。その生活をより豊かにする事はその人の心に浸みる行動をさせてあげる。即ち、利用者職員との“心の交流”が成せる技だと思う。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・昔からの生活になじむように良く話をお聞きする・ご本人、ご家族の力を借りながら継続的に行っている・入居前に個人ファイルを作成し詳細な内容を記入し生活歴の把握に努めている・なるべくその方の生活を尊重しているが全ての把握はできていない・把握の努力に職員間で差がある		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎日、体温と血圧と脈の測定を行っている・体調の変化に素早く対応できている・お客様一人一人の生活のリズムを理解し行動や小さな動作から感じ取り個人の全体の把握に努めている・毎月の会議で意見交換を行っている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人やご家族には日ごろのかかわりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている・ケアマネージャーが会議で職員と話し合いご家族の意思を大切に作成している・会議等で定期的な話し合いモニタリングを行っている	何かあればその都度現状に合わせてプランを変更するが、そうでない場合は初回プランは入所して3ヶ月後に、それ以外は介護保険更新時にプランを見直している。面会に来た家族ともよく話し合っ、プランに反映させている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々変わったことがあれば記録するようにし職員間で情報交換している・介護記録に状態や変化、気づきなどを記録し職員間の情報共有を徹底している・個別の記録はきちんとしており情報の共有もできており、申し送りノート等活用できている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人、ご家族の状況に応じて通院など必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高めるように努力している・ご本人やご家族の状態や意向に配慮しながら取り組んでいる・食事面では好み等を取り入れその方に合った食事を提供している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・2日に1回は近所のスーパーに買物に行っている ・地域の行事に積極的に参加している ・散髪は訪問美容を活用している ・中学生のボランティアを毎年受け入れている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族の意向とご本人の状態によりかかりつけ医を決定している ・かかりつけ医としっかりと連携しており何かあったときはすぐに直接または電話で相談している ・ご家族と協力し通院介助を行っている	ホームの協力医を確保し、受診介助もホームで行っている。それ以外のかかりつけ医への受診は家族にお願いしているが、困難な場合はホームでも支援しているので、それぞれの主治医との連携も取れている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・看護職とすぐに連絡がとれる体制である ・変化等に気づいたことがあればささいなことでも看護職に報告し医師に相談してくれたりし、適切な医療につなげている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	・入院時にはご本人の介護情報を文書や口頭で病院関係者に伝えている ・入院中の面会時に医師や看護師に様子を尋ねている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ご家族の意向を踏まえ医師と職員が連携をとり安心して納得した終末期になるよう随時意思を確認しながら取り組んでいる ・ご家族とも良く話し合いをしている ・ご家族と医師との話し合いも勧めている	家族の強い希望があり、24時間対応の医師と連携を取りながら、現在ターミナルケアに取り組んでいる。「お気持は変わりませんか？」面会に来た家族に、いつも確認して支援している。ケースバイケースだが、条件が揃えば、出来る範囲で、出来る限りの支援をしたいと考えている	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・消防署が行っている普通救命講習を全職員が受講しており、修了証を持っている (21・目標計画達成)		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・お客様も屋外へ避難する形での避難訓練を年1回行っている	通報訓練や運営推進会議と同時開催の避難訓練を実施、参加者から非常ベルも鳴らしてみてもどうか等具体的な提案もあった。全職員普通救命講習を受講し、スプリンクラーも設置した。今後は消防署の協力を得て、指導・助言を受けたいと考えている。	運営推進会議と避難訓練を同時開催し、有意義な話し合いができたのは、とても良い。できれば昼と夜を想定した年2回の避難訓練実施を検討してみてもどうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・プライバシーに気をつけた声かけを行っている ・お客様が嫌がる行為に対してはそれが軽減もしくはなくなるように配慮している ・人格を尊重しプライドを傷つけないように対応している ・敬語を使うように心がけている ・不意に言葉が乱れたり口調がきつくなったりする ・排泄の声かけの際、近くの方に聞こえないようにしているが配慮に欠けるときもある	公共物品を取り込む癖のある人には、その気持ちを尊重し、とりあえず好きに持って帰ってもらい、その後さり気なく回収する。自分を利用者でなく職員と思っている人もいる。各自の特性に考慮した対応を心掛けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・お客様の状態に合わせご本人が決める場面を作っている ・職員がお客様に聞きながらできる限り希望にそえるように努めている ・ご本人が誕生日の時はご本人が希望するものを作ったり、買物時は何か欲しい物はないか尋ねている ・コミュニケーションをしっかりと図り希望や思いをくみとっている ・過去の生活歴を参考にし自己決定しやすくしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入浴等完全には希望にはそえてないところがある ・意思決定できる方にはその方のペースを大事にしているが、できない方には職員の都合で対応する時もある ・集団生活の面もあるので入浴や食事時間など決まりもある ・一人一人のペースを大切にしそれに合わせた対応をしている ・レクなどの誘いを拒否されたら無理強いはいしない		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・お客様の生活習慣に合わせて支援をし、その人らしさを保てるような手伝いをしている ・清潔な身だしなみを心がけている ・ご自分で選べる方は選んでいただき、選べない方は職員が考えて選んでいる		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・好き嫌いのある方にはその方だけメニューを変えたりしている ・一緒に買物に行ったり調理の準備や片づけを行っている ・どんな簡単な事でも一緒にしていただき食べることにお客様も参加しているという気持ちを持って頂きたいと思っている ・職員とお客様が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている (目標計画達成)	「献立は何にしようか」利用者も一緒に食材を買に行き、出来る事は手伝いながらホームで作る手作りの美味しい食事は、当ホームの売りでもある。食事時には美味しそうな匂いが立ち込め、幸せ気分になる。	ホームは食事作りを楽しむ支援を目標達成計画に掲げ、食器拭きを仕事としてこなし、生きがいにする男性も居る等、効果を挙げている。手作りの食事はホームの魅力なので、今後共頑張って欲しい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量も個々に確認しお一人お一人の体調と一日の摂取量を把握している ・硬いものは柔らかくしたり刻んだりし個人の咀嚼レベルに合わせている ・夏場は1500cc冬場は約1100ccと季節も勘案して水分摂取には気をつけている ・盛り付けの量を個人に合わせて変えている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・うがいのできる方は液体歯磨きにてうがいを、できない方にはガーゼにてといったように個々の能力に応じた口腔ケアをしている。 そのためか口臭のある方はほとんどいない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・排泄チェック表を利用し時間を見計らってお客様をトイレ誘導し、トイレで排泄できるように支援している ・尿意、便意を素早く感じ取りトイレ誘導している ・寝たきりの方も1日1回はトイレに座っていただいている ・紙パンツなどは必要がなければ布パンツなどへ切り替えるようにしている	失禁が多く紙パンツだった人が、適切な支援で日中は殆んど失禁がなくなり布パンツになる等、改善事項もある。出来る限り布パンツを使用し、トイレでの排泄を心掛けている。各居室に自分のトイレがあるのも嬉しい。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・毎日朝と昼に自家製ヨーグルトを提供している ・排便が2日ない時から自家製ブルーベリー入りヨーグルトを食べていただく ・毎日散歩をしている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・職員数の都合上、施設側で入浴日を決めている ・お客様の希望にそえないことがある ・ご自分から入りたいといわれる方はいないのでこちらからの声掛けで入浴されている ・入浴を拒否されたら無理強いはいしない	「あんた、子供産んだ？」出産経験のある職員でなければ嫌な人も居る。それぞれの利用者の希望を聞きながら、上手く声掛けして入浴を促すよう心掛け、現時点では入浴拒否の人は居ない。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日光浴、散歩、レクリエーションをするなど日中の活動を促し生活リズムを整えるように努めている ・リビングのソファを居眠り用に活用し、もっと横になりたい方は部屋のベッドで臥床されている ・昼夜のリズムが乱れやすい方が日中うとうとされている時には起きて頂くよう様々な刺激を工夫している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・個別ファイルに薬局が作成した服用薬の説明資料を保管し全職員が閲覧できるようにしている ・服用薬に変更がある場合は介護記録や連絡ノートに記入し、時には口頭でも連絡しあっている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・将棋、五目並べ、カルタ、テレビ視聴など好きなことができるように支援している ・家事全般でお客様の能力に応じて仕事をお願いし、感謝の言葉を述べている ・地域のイベントへの参加や買物へも頻繁に行き楽しまれている方もいる (21・目標計画達成)		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・花見、ピクニック、喫茶店、絵画鑑賞、オープンスクール、運動会、地域の行事などに積極的に参加している ・ほぼ毎日散歩に出かけ四季を感じている ・突発的な外出希望には応じられないことが多い	閑静な住宅地の中、田園風景広がる恵まれた立地条件を活かし、個別支援で暇があれば散歩に出掛ける。積極的な散歩支援は当ホームの個別支援の特色である。地域行事参加や、季節の行楽以外に、買物等日常的な外出も多い。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・買物のできる方はしっかり買物に出かけられご自分で支払い等されている ・ご自分で財布を持たれている方もいれば持たれてない方もいる ・財布を持たれてない方は買物時にホームへの預かり金よりお支払いしている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご本人宛ての手紙は当事者に手渡している ・手紙を書きたいという方はいない ・電話は希望があれば常識的な時間内はいつでも発着信できる		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ソファの配置の工夫、観葉植物、観賞魚、自然の風景、日光浴などで心穏やかでいただいている ・毎日共用の台所、食堂、リビング、トイレ、各個室内と各個室のトイレ掃除を行い、清潔を保っている ・不快な刺激はなく個人それぞれのスペースがしっかり確保できている	「寒い時はお日さまの陽射しが一番、ここで日向ぼっこは暖かい」お気に入りの長ソファで、仲良し同士お喋りを楽しむ。ゆったり広く、木の温かみ溢れるこのホーム自慢の造りで、ハード面は申し分ない。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・3人がけのソファが3つあり、それぞれ距離をおいて配置されているため仲の良い方が集まったり、一人になりたい方が離れた所に座られたりできるようになっている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居時になじみの物品の持込をお願いしている ・居室内の壁等にご家族、ご親戚の写真やご自身、ご家族、職員が作った作品などを展示している	「ちょっと行って来るね」お気に入りのマスコットに声を掛けて部屋を出る。用事がない時はマイペースで殆んど居室にいる人も居る。窓からの陽射しが明るく、収納スペースも多く、居心地の良さそうな部屋だった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・お客様の残存能力を見極めて物品の配置、壁面の手すりやトイレのはね上げ手すりの設置、介護ベッドのレンタル等を行っている		